

教育目標と3つの方針（ポリシー）

【教育目標】

建学の理念である「明德・格物致知」について、本学は、「人は、物事の道理や本質を深く理解して知識や学問を深めることにより、自らが持つ天から与えられた優れた徳性を明らかにすることができ、人は、この自らの特性を悟ったとき、おのずと自ら及び他者に対して正しく公明な愛を向けることができる」と解釈しています。

学生に対し、多くの知識とかけがえのない経験を授けることにより、自身を磨き、更なる高みへと到達させ、世界中で貢献できる人材を育成することを目指しています。

◎入学者受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）

国際文化学部

<アドミッション・ポリシー>

本学では、教育目標を実現するために、豊かな教養を身につけるための努力ができ、グローバル社会で活躍する意欲のある人を求めています。

- 1 目的意識のある人
- 2 ビジネス能力の習得に対する強い意欲を持ち、そのために努力ができる人
- 3 将来グローバル社会で活躍することを強く望んでいる人
- 4 自ら解決できるような知識と技能を習得したいと考えている人

◎学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

国際文化学部

本学では、「明德・格物致知の実践」を通じて、社会で活躍できる、有為な人材を育成することを教育の目的として、所定の教育課程を修め、以下の能力を身につけた者に学士の学位を授与します。

1. 文章を正しく読み、書き、自分の考えを論理的に表現できる力
2. 基本的な英語の読み、書き、英語で自分の意思を伝えることのできる力
3. 広い視点から情報を判断、分析し、分かりやすく情報を発信する力
4. 幅広く豊かな教養をそなえ、多様な文化、価値観を理解する力
5. 社会におけるさまざまな問題を見つけ、主体的に問題解決に取り組む力

◎教育課程の方針（カリキュラム・ポリシー）

キャリア創造学科

学位授与の方針に掲げた人材を育成するため、「一般教育科目」「専門科目」「演習科目」「実習科目」「関連科目」を配置し、教育を行う。「専門科目」には、多様な文化を理解するための「異文化教育科目群」、人生を決定する職業選択（キャリア形成）に必要な知識と基本的なビジネススキルを養成するための「キャリア教育科目群」を配置する。

一般教育科目

1年次に配置される必修科目「基礎ゼミナールⅠ」「基礎ゼミナールⅡ」「キャリアデザイン入門」「キャリアデザイン概論」では、学習習慣を確立し、大学での学修方法、レポートの書き方、文章表現力を学ぶ。また、現代社会と自分の将来を見つめ、自己を実現するための社会人基礎力、コミュニケーション力を身につける。主として社会・人文分野における幅広い教養を身につけ、社会人として要求される一般的知識を身につけるとともに、専門的知識を身につけるための基盤を作る。

専門科目

「キャリア・情報」ではキャリア理論、就職支援科目を配置し、実践的なビジネススキルなど社会で要求される基礎的なことを学ぶ。「文化・社会」では、多様な文化の理解を深めつつ幅広い教養を身につけ、多角的な視点から様々な分野で要求される知識を身につける。「言語文化」では「英語コース」「中国語コース」「日本語コース」の各コースの必修科目を中心に基礎から段階的に学習し日常会話からビジネスシーンで使える語学力を身につけることはもちろん、コミュニケーション力を養う。

演習科目

2年次春semesterから3年次秋semesterにかけて段階的に配置される「専門ゼミナールⅠ～Ⅳ」は、少人数の指導の下、各分野における方法論を学び、専門性を深めるのみならず、自立した社会人として期待される能力を養成する。また、ゼミナールの総仕上げとして「卒業研究」で論文を仕上げる。

実習科目

1年次春semesterから配置される「伝統文化」などの科目に加え、他者との協働性や社会参画のための態度を養うための「実践型インターンシップ」「地域創生」「フィールドワーク」などの科目も配置している。

関連科目

主として2年次春セメスターから配置される「関連科目」は、学生の就職支援として、各種検定試験の準備を行うための科目です。TOEIC、英語検定、IT パスポート試験、情報セキュリティマネジメント試験、簿記検定、日本語能力試験など、資格取得の支援を行います。